



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/11号 2019/1/29

2月・3月のSSH事業

- SSH運営指導委員会
日 時 2月7日(木)
場 所 本校会議室
内 容
① 本年度の事業報告と成果・課題
② 次年度の事業計画
③ 協議
- ミニ課題探究校内発表会
期 日 3月14日(木)
時 間 13:30～15:30(予定)
場 所 本校第1体育館
形 態 ポスター発表形式



写真はポスター発表のイメージです

◆ミニ課題探究(1年全学科)

2学期から始まった1年生のミニ課題探究も、校内発表に向けての準備の時期となりました。現在、それぞれの班がポスター発表に向けて、ポスターのアウトラインを作成しているところです。

多くの生徒にとって、課題研究の経験は初めて。戸惑いながらも、班で協力しながら懸命に取り組んでいます。発表は3月。ポスターセッション形式で行います。SSHのアンケートから、プレゼンテーションに対し苦手意識を持つ生徒が多いことが明らかになっていますが、ミニ課題探究の発表を通じ、まとめる力、伝えあう力を向上させていくことと思います。



◆海外研修(2年数理探究科)

12月2日(日)～9日(日)にかけて、数理探究科2年生30名が、アメリカ合衆国での研修を行いました。ネバダ州のGreen Valley High Schoolでは、STEAM(Science, Technology, Engineering, Art & Math)系の科目を中心に授業に参加しました。最終日には、日頃の課題研究の成果を現地の高校生に対してポスター発表と質疑応答の形式で行いました。

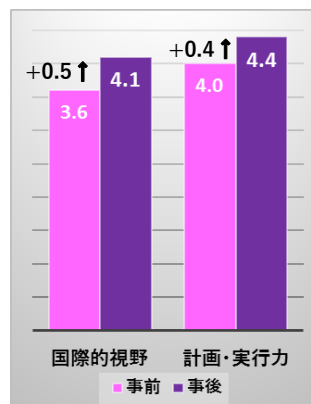
グランドキャニオンでは地層・植生等の自然観察を行い、日本との違いを実感しました。バレーオブファイヤーでは、岩石に直接触れたり、身近な距離で動物を観察するなど、グランドキャニオンとは違った角度から自然について学ぶことができました。

今回の研修により、コミュニケーション力はもとより、国際的視野の拡大やものごとを多面的に見る力が向上しました。

【研修内容】※はホームステイ

- 1日目 移動日(福岡→仁川→ラスベガスへ)
- 2日目※ G.V.H.S.到着 歓迎行事・授業参加
ホームステイ先へ移動
- 3日目※ 終日授業参加
- 4日目※ グランドキャニオン研修
- 5日目※ 授業参加・課題研究発表
- 6日目 G.V.H.S.でのお別れセレモニー
フーバーダム・バレーオブファイヤー研修
- 7日目 移動日(ラスベガス→仁川へ)
- 8日目 移動日(仁川→福岡→大村高校)

【実施の効果】



①全員が、「非常によかった」と回答しています。

②事前・事後アンケートでは、28項目中25項目でプラス方向への変容が確認されました。

③研修報告会でも1年生からの質問に対して、積極的に回答しており、成長の跡が感じられました。



写真 左：英語で説明する生徒

右：訪問した高校の前で